

ほうこん

題字・清水英夫

GALAC・7月号・付録
2016年7月6日発行(毎月1回6日発行)
昭和43年3月8日第三種郵便物許可
〒160-0022
東京都新宿区新宿5-10-14 中村ビル2F
NPO法人放送批評懇談会
TEL(03)5379-5521/FAX(03)5379-5510
ホームページ <http://www.houkon.jp/>
Eメール kondankai@houkon.jp
編集・藤田真文

第53回ギャラクシー賞 入賞作品決定

—4月理事会報告—

2016年4月28日、4月理事会が開催された。

1. 委員会活動報告

◇出版事業委員会 飯田委員長

・4月14日に編集会議を開催した。7月号の特集は「決定!第53回ギャラクシー賞」。表紙は近藤正臣さん。9月号の特集は「放送局の海外ビジネス」の予定。

◇選奨事業委員会

〈テレビ委員会〉

・下期の参加作品は176本で、上期から8本減った。

・4月24日に選考会を開催して第53回ギャラクシー賞入賞作品を決定した。特別賞は国谷裕子さん。個人賞は遠藤憲一さんに決まった。

・4月24日に4月度の月評会を開催して、ドラマW「この街の命に」(WOWOW)、SWITCHイン

タビュー達人達「渡辺謙×山中伸弥」(NHK)、ハートネットTV緊急報告・熊本地震(1)「障害者・高齢者は今」(2)「どう支える被災地の要支援者」(NHK)、報道特集「ハンセン病 隔離された法廷と司法の責任」(TBSテレビ)の4本を選んだ。

〈ラジオ委員会〉 橋本委員長

・下期の参加本数は39本で上期より2本増加した。

・4月21日に最終選考会を開催して入賞作品を決定した。DJパーソナリティ賞は荻上チキさんに決まった。

・4月5日に定例会を開催して東日本大震災から5年の関連番組について合評した。

〈CM委員会〉 稗田委員長

・下期の参加作品は100本で、

上期から40本減った。原因のひとつは出品作品を絞った結果ではないか。また、地方CMが増えた。

・4月22日に最終選考会を開催して入賞作品を決定した。

・4月12日に定例会を開催して、28本のCMを取り上げた。

〈報道活動委員会〉 鈴木委員長

・4月23日に最終選考会を開催して入賞作品を決定した。下期の参加作品は19本だった。上期の11本と合わせて年間で30本だった。

◇企画事業委員会 川喜田委員長

・4月11日に委員会を開催して、次回のテーマについて話し合った。

◇マイベストTV賞プロジェクト
滝野プロジェクトリーダー

・年間グランプリの投票が始まった。締め切りは5月13日。

・4月20日にGメンバーサイトをプレオープンした。現在のWeb会員に告知。Web会員限定の5月9日まででは会費半額キャンペーン中。現在、56人が入会した。5月10日に正式オープンする。

2. その他

①ギャラクシー賞贈賞式演出の件
第53回の司会は上柳昌彦さんと望

月理恵さんに決まった。

②入会・退会の件

入会（正会員）

道端令英子さん

退会（正会員）

田家秀樹さん、原きよさん、藤田恒美さん

③会費長期滞納者の件

長期滞納者へ督促文を郵送し、入金のない場合は定款に従い退会措置とする。

④その他

ラジオ部門の橋本委員長より、第53回の選考過程で特別賞にしたいとの意見が出た作品があった。今回は特別賞にならなかったが、特別賞にしたい場合、委員会の判断で設けることができるのか確認したいとの意見があり、これについて議論。出席理事からは「委員会の判断で設けることができるのでは」「それぞれの委員会の独立性は担保しながら、全体の数は理事会が管理する」「各委員会の本数の枠内で調整するべき」などの意見が出た。

音理事長から「大きな問題なので、継続して検討していきたい」との提案があり、了承。

次回以降の理事会

5月26日（木）

6月26日（日）

【出席】音好宏、橋本隆、川喜田尚飯田みか、稗田政憲、鈴木嘉一、滝野俊一、入江たのし、茅原良平、上滝徹也、小林毅、坂本衛、桜井聖子、嶋田親一、水島宏明、山田健太、中島好登

会議記録	4月
	1日	(選奨) テレビ月評会
	5日	(選奨) ラジオ定例部会
	11日	企画事業委員会
	12日	(選奨) CM定例部会
14日	出版編集委員会	
28日	理事会	

お知らせ

放送批評懇談会ホームページには「正会員」の情報が掲載されています。掲載中の情報の変更をご希望の場合は、事務局までメール、FAX、電話でご連絡ください。

メール kondankai@houkon.jp

FAX 03-5379-5510

TEL 03-5379-5521

よろしく願いたします。

第53回ギヤラクシー賞 贈賞式開催迫る

—5月理事会報告—

2016年5月26日、5月理事会が開催された。

1. 委員会活動報告

◇出版事業委員会 飯田編集長

・5月17日に編集委員会を開催した。8月号の特集は「続報！第53回ギヤラクシー賞」。表紙は二階堂ふみさん。ザ・パーソンは高市早苗総務大臣。こちらからの質問に書面で回答をもらい、補足の質問を取材で行う予定。こちらからは10項目の質問を提出しており、回答の締切は5月31日、6月2日に取材する。通常のパーソンでは入りきらないので、6ページで構成する予定。これについて出席理事から「総務大臣をパーソンのページに登場させるのはどういう意図なのか」「会としての立場が問われるので、政府などにインタビュ―する場合、相談してほしかった」

などの意見が出た。これに対して飯田委員長は「放送法の他にも幅広く質問しており、総務省の宣伝にはならないようにする」と述べた。

◇選奨事業委員会 藤久委員長
〈テレビ委員会〉

・大賞は「報道ステーション」特集ノーベル賞経済学者が見た日本』特集 独ワイマール憲法の教訓』(テレビ朝日)。優秀賞は「E.T.V特集」書きかえられた」沖縄戦」国家と戦死者」知られざる記録」(NHK)「NNNDキュメント15 シリーズ戦後70年」南京事件 兵士たちの遺言』(日本テレビ)「家、ついて行ってイイですか?」(テレビ東京)。
・5月23日に5月度の月評会を開催して「NHKスペシャル 大アマゾン最後の秘境 第2集 黄金を求めた男たち」、「日曜ビッグスペシャル

池上彰のご当地裏事情」(テレビ東京)、「NNNDキュメント16 障害者ブラスタ」自閉症スペクトラムと少年事件の闇に」(日本テレビ)、「クレイジージャーニー」リヤカーマン」(TBS)の4本を選んだ。
〈ラジオ委員会〉 橋本委員長

・大賞は「憲法で巡る日本の旅」(九州朝日放送)。優秀賞は「赤ヘル1975」(中国放送)、「遠くなる戦争を語り継ぐ」女性ノンフィクション作家の対話」(NHK)、「学生に夏休みはない 2015」(毎日放送)。

・5月24日に定例会を開催して若者向けの番組を試聴した。

〈CM委員会〉 稗田委員長

・大賞はKDDI au「三太郎シリーズ」。優秀賞はサントリーホールディングス PEPPISTRONG ZERO桃太郎「Episode.3篇」、宮崎県小林市 移住促進シティブロモーション「ンダモシタン小林篇」、早稲田アカデミー企業「へんな生き物篇」。

・5月19日に定例会を開催した。気になったCMの本数は30本だった。
〈報道活動委員会〉 鈴木委員長

大賞は「RSK地域スペシャル・メッセージ」(山陽放送)。優秀賞は「子どもが多いほど保育料が値上がりした問題」を追及取材(北海道テレビ放送)、戦後70年シリーズ企画「戦後70年の地平から」(琉球放送)。(詳細は「GALAC」7月号に掲載)

◇企画事業委員会 川喜田委員長

5月16日に委員会を開催した。9月16日に開催するセミナーの自身がほぼ固まった。テーマは「新しいメディアとしてのラジオ」の予定。

◇マイベストTV賞プロジェクト

・滝野プロジェクトリーダー
年間グランプリがテレビ朝日の「木曜ドラマ スペシャルリスト」に決まり、23日に発表した。マイベストTV賞のプレゼンターは今年もなしにする。

・5月10日にオープンしたGメンバーサイトの会員数は現在166人で予想よりも多いが、さらに増やしたい。

2. その他

①ギヤラクシー賞贈賞式の件

・贈賞式の会場がウエスティンホテルからセルリアンホテル東急に変わり、15時からのスタートになった。

会場を間違える出席者が出ることも考えられるので、出席予定者にメールで案内する。

・ラジオ部門入賞のアップルウェーブからネット生中継の申し込みがあったが、これについて検討。

ライブではなく、後日許諾を取って配信してもらう。

・ネット取材への対応について

受賞者に事前にネット配信される場合があることを伝えておき、許可がおりない場合は配信しないように伝える。

・場内での撮影について

広報の場合は自社の広報に必要な場面だけ使用してもらう。原則として、申込者のみ撮影を許可する。撮影は専用席を設ける。一般客は許可しない。

②入会・退会の件

入会(正会員)

鈴木武人さん、星野裕さん、山内信子さん

退会

維持会員のアサツーデイ・ケイから退会の文書が送付されてきたが、2015年度分が未納なので、問い合わせの文書を藤田専務理事が作成し、

送付する。

次回以降の理事会

6月26日(日)

7月26日(火)

【出席】音好宏、橋本隆、藤田真文、川喜田尚、飯田みか、丹羽美之、藤久ミネ、稗田政憲、鈴木嘉一、滝野俊一、市村元、碓井広義、茅原良平、上滝徹也、小林毅、坂本衛、桜井聖子、嶋田親一、古川柳子、山田健太、中島好登

会議記録

〔5月〕

.....

16日

企画事業委員会

17日

出版編集委員会

19日

(選奨)CM定例部会

23日

(選奨)テレビ月評会

24日

(選奨)ラジオ定例部会

26日

理事会